

## 進路指導室から 第278号

### はじめに

毎日新聞5月1日(金)のコラム「金言」に、以下のような記事が掲載されていました。(一部)

近代看護の礎を築いた英国人、ナイチンゲールはとにかく目立つことの嫌いな女性だった。

1820年、豊かな家庭に生まれた彼女は、父から数学を教わった。クリミア戦争(1853~1856年)で負傷兵の増えた英国は、女性看護団を現地に送ることを決め、彼女をリーダーに指名する。ところが現地の陸軍幹部が、「女が戦争とどう関係があるか」と看護活動を拒否したため、彼女は野戦病院のトイレ掃除から始め、看護活動に移った。

病院では負傷兵が床に寝かされ、害虫がはい回っていた。不衛生が負傷兵の命を奪っていると考えたナイチンゲールは、間隔を空けてベッドを置き、換気と日当たりに気を使った。自費で洗濯室と台所を作り、患者に清潔なシャツと特別食を提供する。看護師に手洗いの徹底を命じ、「できれば顔も」と指示している。負傷兵の死亡率は42%から5%に下がった。

夜中にランプを持って病室を回る彼女を、新聞は「ランプの貴婦人」と紹介し、その名は本国でも知られる。目立つことの嫌いなナイチンゲールは戦後、「スミス」という偽名で帰国している。

ナイチンゲールの誕生日である5月12日は、「看護の日」です。看護師、医師、薬剤師、調理師、保健師、救急救命士、助産師、清掃スタッフなど、自らの感染リスクにさらされながらも、社会が普通の生活を取り戻せるよう力を尽くしてくれている人たちがいます。

### 「一般選抜における主体性等の評価」について

2021年度入試から大学入試の区分が、「総合型選抜」(旧AO入試)、「学校推薦型選抜」(旧推薦入試)、「一般選抜」(旧一般入試)に変更され、各選抜内容も学力の3要素に基づく多面的・総合的な評価が求められることとなります。すでに多くの大学では、「AO入試」や「推薦入試」で、受験生の「主体性等」について多面的・総合的に評価してきましたが、今回の変更は、「総合型選抜」、「学校推薦型選抜」、「一般選抜」のいずれの選抜であっても、受験生の「主体性等」について、多面的・総合的に評価しようというものです。

そのうち、「一般選抜」では、従来の学力重視の選抜から、高校生活の多様な活動を、本人記載資料、調査書等を積極的に活用して、受験生の「主体性等」を評価していくことが予想されます。2021年度入試の「一般選抜」では、「主体性等」を評価する大学等はまだまだ多くはありませんが、今後は、評価する大学等が増えるものと思われま

す。筑波大学では、「一般選抜」後期日程の一部の定員を「総合選抜」とし、調査書を点数化し、活用する予定です。調査書の「指導上参考となる諸事項」に対応した項目が50点満点で評価されます。高評価の例として、「①学習等」、「②部活動・ボランティア・留学等」の項目で複数年評価される記載がなされている場合に、3分の2以上の割合で得点が配分されるとしています。

#### 〔2021年度 筑波大学一般前期(総合選抜)〕

##### □ 評価方法(予定)

項 目	高評価の例	配点割合(50点満点)
① 学習等	肯定的な評価が3年連続記載	① ②で2/3以上の 得点
② 部活動・ボランティア・留学等	具体的な記載が2年分	
③ 特別活動(生徒会・委員会・クラス係等)	具体的な記載が1つ	
④ その他の活動等	具体的な記載が1つ	
⑤ 賞・資格等	※ 全国的な評価が1つ	⑤ 低く設定

※ 「全国的な評価」例：国際科学オリンピックで全国大会出場、校長会等が実施する検定試験(情報技術検定1級等)

信州大学でも調査書が点数化されます。評価の留意点として、「⑥」「⑦」にあるように、意欲的に高校生活を過ごした受験生をしっかり評価していこうとする姿勢がうかがえます。

〔2021年度 信州大学〕

□ 2次試験で面接等を実施しない入試では、調査書を点数化する。

【評価の留意点】

- ① 「調査書」は高校3年間の学習状況が集約された資料である。
- ② 「評定平均値」や「学習成績講評」は有益な情報となりうる。
- ③ 記載者の主観で書かれている部分は一般選抜では評価の対象としない。  
(④・⑤略)
- ⑥ 在籍高校の環境や志願者の生育環境に大きく影響を受ける事項は、一般選抜ではできる限り評価の対象としない。
- ⑦ 志願者の置かれた環境の豊かさを評価するのではなく、志願者が置かれた環境をいかに克服したか、あるいはいかに有効に利用したかを評価するように努める。  
(⑧略)

このように、信州大学では、「⑥」「⑦」にあるように、個々の受験生が取り組んだことを重視するようです。

ちなみに、地元の県立広島大学でも、2021年度の「一般選抜」において「主体性等」を評価する予定です。現段階で判明していることは、「調査書を中心として評価することとし、得点化を行う」ことです。2020年1月26日付の「2021年度 県立広島大学入学者選抜における変更について（予告・第六報）」によると、「調査書における評価（記載）項目については、各選抜区分において設定することとし、具体的な内容を募集要項等において明示」するとしています。今後、発表される募集要項等に留意したいと考えています。

〔2021年度 県立広島大学〕

5 「県立広島大学・地域への志向性」の評価について

- (1) 本学が掲げる「課題探究型地域創生人材」育成の観点から、すべての学部及びすべての選抜区分において、本学で実施している公開講座や、各学部で実施している高大接続等事業への受講（参加）状況等についてのレポートや、総合的な学習の時間における成果物等を提出させるなどして、加点方式により積極的に評価します。

一方、出願者数が多い大学では、合否判定までの短期間に全出願者の調査書等を見ることは容易ではないことから、合否ボーダー層の一定範囲内で活用することになると思われます。徳島大学「調査書加点制度」の場合は、従来の学力試験で9割を合格者とし、残り1割の定員の2倍を調査書点数化評価の対象者とするとしています。

〔2021年度 金沢大学・徳島大学〕

金沢大学	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 記載事項の肯定的意見の有無を判定。</li> <li>② 学力検査のボーダー層の志願者のみに加算して合否判定。</li> <li>③ 配点は全学統一して、共通テスト+個別試験の配点の概ね2%。</li> </ul>
徳島大学	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 一般前期の10%程度。</li> <li>② 〔共通テスト+個別試験〕の合計点の成績上位者90%を合格者とする。(A選考)。「A選考合格者」を除く合計点が高い順に、想定する合格者数の2倍程度を対象とする(B選考)。</li> <li>③ 個別試験の配点5%もしくは10%を上限に、調査書の評価得点を加点。(10%で個別配点400点なら最大40点)</li> <li>④ アドミッション・ポリシーに基づいて、特別活動の記録、部活動・ボランティア活動・留学体験などを評価。</li> </ul>

このように、今後の大学入試では、取得資格・検定、表彰等の成績を評価するとともに、学習・部活動、特別活動の行動プロセスを評価されることになりそうです。

終わりに

先日、大学時代の友人から、「進路指導室から」を見てくれていると手紙で教えてもらいました。大学時代は、その友人から授業ノートを借りて何とか試験を乗り切ったことがたびたびでした。彼は現在、大手旅行代理店に勤務しています。新型コロナウイルスの影響で大変な状況だと思います。この状況がはやく改善されることを願っています。  
(文責：進路指導部 池本 邦彦)